



日清食品HD 2021年度 第3四半期決算報告

2022年2月3日

日清食品ホールディングス株式会社

(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2022年2月4日

2021年度 通期の経営方針

Reboot & Make A Fresh Start

新経営計画元年として、3つの成長戦略と組織／人材変革のスタートダッシュを切る

国内 既存事業

- 即席めん事業：サプライチェーン構造の改革に加え、新カテゴリ／チャネルの創出と“新しい売り方”への転換を推進
- 非即席めん事業：菓子事業を中心に需要・供給両面からのグループシナジーを加速させ、成長と収益性向上の基盤を整備

海外 既存事業

- すでに成果をあげ始めているGlobal Brandingの深化を加速。成長ドライバーとしての競争優位性をより強固なものに
- 中国やブラジルでは事業のレバレッジに向けたマルチカテゴリ・マルチエリア戦略を着実に推進

新規事業

- 「完全栄養食の普及」に向け、スピード感を持って事業をローンチし認知を獲得
- 5つのタッチポイントでの事業立上げと実証実験の実施：①定期宅配便（D2C：インテンシブプログラム）、②社員食堂、③シニア、④小売販売、⑤スマートシティ

グループ全体

- COVID-19からの学びを活かし、Digitalの最大活用によって働き方のみならず事業構造自体を“ニューノーマル”へとシフト
- 生活者の行動／意識変容に的確に対応していくことで、COVID-19禍で生じた需要増大を持続的な成長ドライバーへと転嫁させる

2021年度 第3四半期 決算ハイライト

第3四半期実績

	決算開示ベース	為替一定・前期C-19 ^{*1,*2} 控除後ベース	今期目標水準
売上収益	4,248億円 + 13.6%	4,171億円 + 15.8%	Double Digit
既存事業コア営業利益	435億円 △ 5.0%	429億円 + 16.8%	Double Digit
国内即席めん事業	△ 3.9%	+ 18.5%	Mid single Digit
国内非即席めん事業	+ 6.5%	+ 26.8%	Double Digit
海外事業	△ 16.8%	△ 3.5%	Double Digit

当決算期のサマリー

【決算開示ベース】

- 売上収益：C-19の影響控除前ながら、3事業いずれも増収を達成
- 既存事業コア営業利益：2019年度対比では堅調な成長を遂げるも^{*3}、前年同期のC-19影響の反動により、減益

【為替一定・前期C-19控除後ベース】 Make a Fresh Start に向けて順調な進捗

- 売上収益：3事業いずれも増収、連結ベースで+15.8%の成長
- 既存事業コア営業利益：前年同期比成長率は連結ベースで+16.8%、中長期目標を超える水準で着地

*1 連結時の円換算の影響を除く“現地通貨ベースでの実質的な増減／成長性”を重視する主旨にて、外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算した場合の成長率

*2 為替影響に加え、20年度業績に大きな影響（需要増大や販売費低減、経費未使用等）を及ぼしたC-19影響も除いた、実質的な前期比増減／成長率

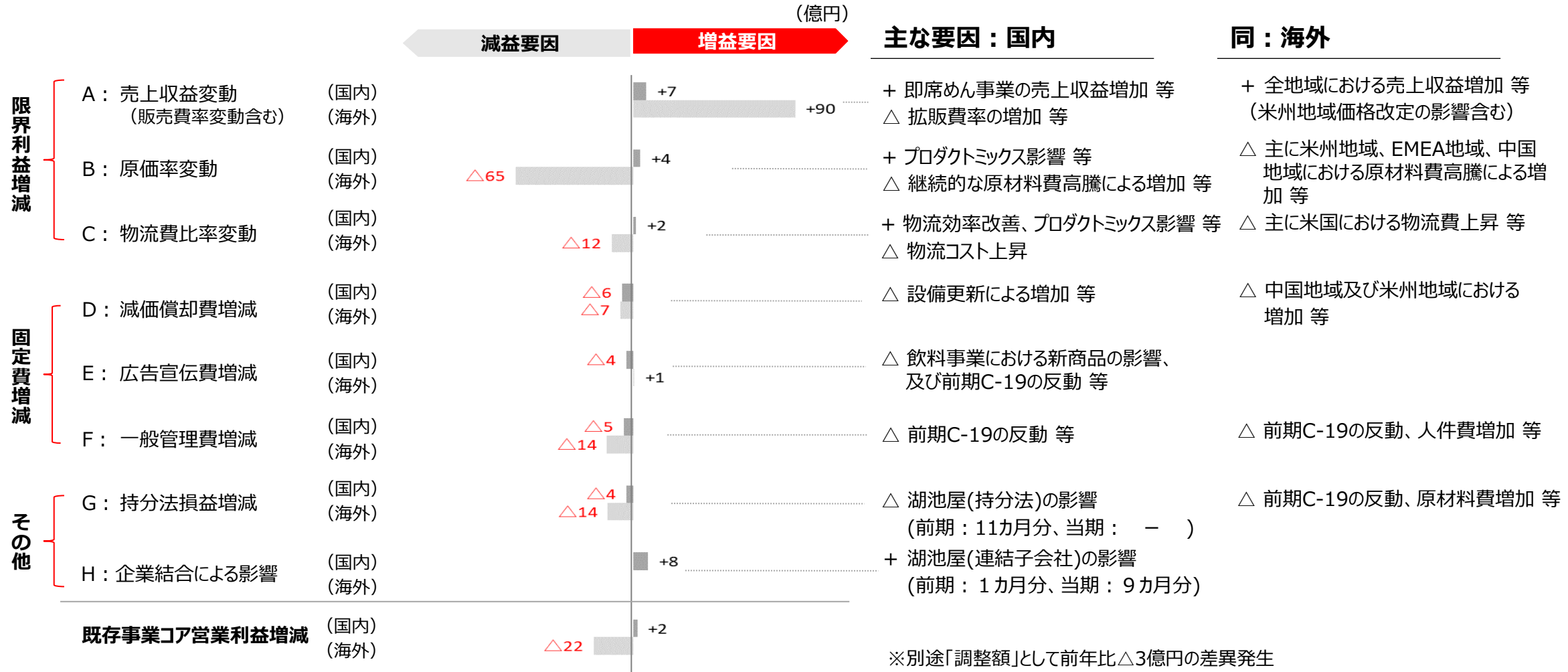
*3 2019年度対比 既存事業コア営業利益 +83億円 (+23.5%)

連結決算サマリー

- ・決算開示ベース：増収・減益となったが、19年度比では引き続き高成長を維持
- ・為替一定・前期C-19控除後ベース：全ての項目において、前年同期を上回る着地

単位：億円	決算開示ベース						為替一定・前期C-19控除後ベース			
	2021年度 第3四半期 ①	2020年度 第3四半期 ②	前期比		2019年度 第3四半期 ⑤	前々期比 CAGR ⑥	2021年度 第3四半期 ⑦=①-為替影響	2020年度 第3四半期 ⑧=②-C19影響	前期比	
			増減 ③=①-②	増減率 ④=③÷②					増減 ⑨=⑦-⑧	増減率 ⑩=⑨÷⑧
	売上収益	4,248	3,739	+ 509	+ 13.6%	3,480	+ 10.5%	4,171	3,603	+ 568
既存事業コア営業利益	435	458	△ 23	△ 5.0%	352	+ 11.1%	429	367	+ 62	+ 16.8%
営業利益	426	500	△ 74	△ 14.8%	355	+ 9.5%	420	409	+ 11	+ 2.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	307	363	△ 55	△ 15.3%	256	+ 9.5%				
既存事業コア営業利益率	10.2%	12.2%	△ 2.0pt-		10.1%		10.3%	10.2%	+ 0.1pt	
営業利益率	10.0%	13.4%	△ 3.3pt-		10.2%		10.1%	11.4%	△ 1.3pt-	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	7.2%	9.7%	△ 2.5pt-		7.4%					

既存事業コア営業利益の増減要因（前期比・決算開示ベース）



【増減要因の算出法】

① 限界利益 (A,B,C)	= (当期の売上収益 × 前期の売上収益比率) - 当期費用	* 売上収益に販売費控除額を足し戻した額を元に算定しています。
② 固定費 (D,E,F)	= 前期費用 - 当期費用	
③ その他 (G)	= 前期実績 - 当期実績	
(H)	= 新規連結会社のコア営業利益増減	

セグメント別：決算サマリー

・決算開示ベース：1-3月期は更なる資材価格高騰や経費の期ズレなどの影響を見込むものの、10-12月期は国内事業に加え、海外事業も増益に転じた

決算開示ベース

為替一定・前期C-19控除後ベース

連結全体	売上収益：4,248億円	YoY：+509億円、+13.6%	既存事業コア営業利益は"Double Digit"+16.8%での成長	売上収益：4,171億円	YoY：+568億円、+15.8%
	既存事業コア営業利益：435億円	YoY：△23億円、△5.0%		既存事業コア営業利益：429億円	YoY：+62億円、+16.8%
国内 即席めん 事業	日清食品、明星食品ともに好調で増収		コア営業利益は"Mid single Digit"超え+18.5%での成長	売上収益：1,864億円	YoY：+69億円、+3.8%
	前期C-19影響もあり減益（19年度比CAGR+7.3%と順調に成長）			コア営業利益：285億円	YoY：+45億円、+18.5%
国内 非即席めん 事業	飲料事業は広告宣伝費増も、低温事業がカバーし、低温・飲料事業は増収増益		コア営業利益は"Double Digit"+26.8%での成長	売上収益：1,132億円	YoY：+313億円、+38.2%
	菓子事業は、20年12月に連結化した湖池屋の影響により増収増益（除外しても増収）			コア営業利益：65億円	YoY：+14億円、+26.8%
海外事業	全地域で増収（米州地域と中国地域が大きく牽引）		コア営業利益は米国や持分法適用会社などの減益をカバーできず減益	売上収益：1,235億円	YoY：+205億円、+21.5%
	C-19反動、米州地域中心にコスト増を吸収できず減益（19年度比CAGR+2.8%）			コア営業利益：103億円	YoY：△4億円、△3.5%

セグメント別 売上収益実績

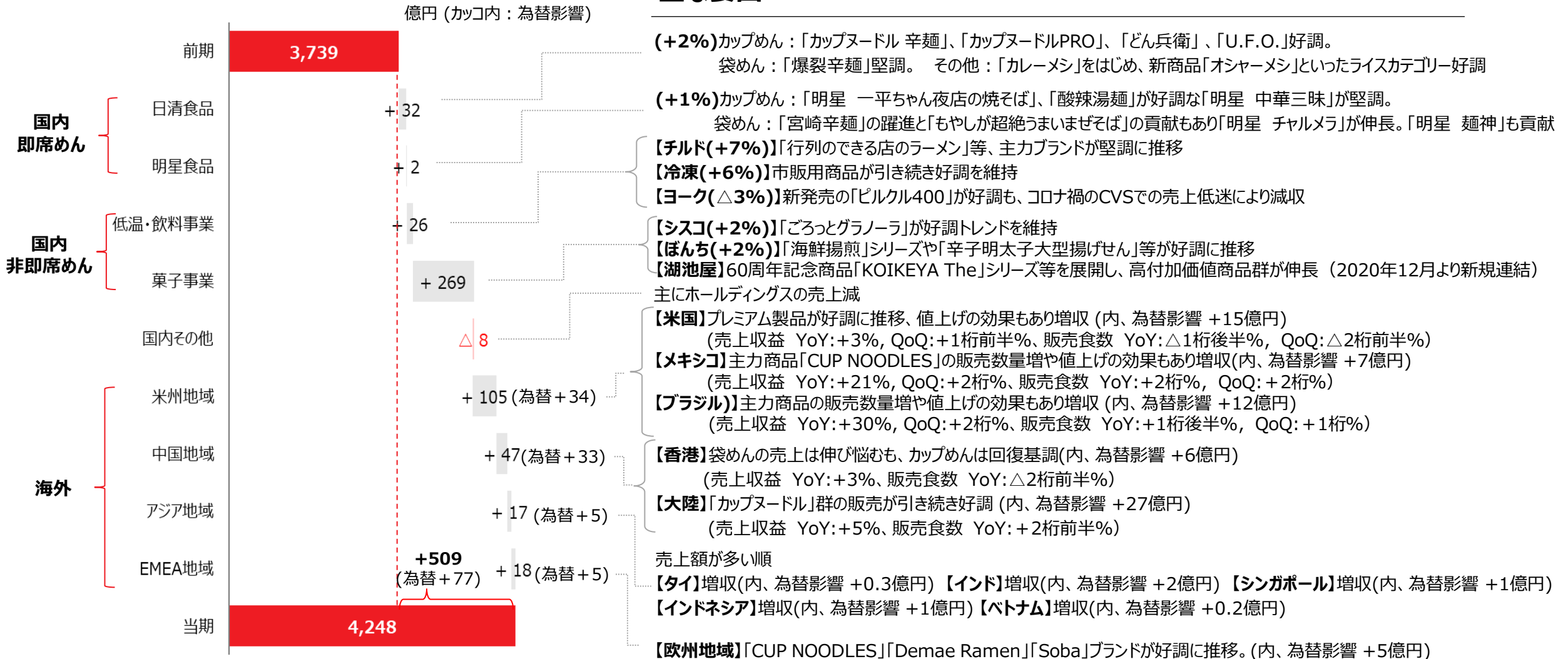
・決算開示ベース / 為替一定・前期C-19控除後ベース : 国内その他を除く全セグメントで増収

単位：億円	決算開示ベース						為替一定・前期C-19控除後ベース			
	2021年度 第3四半期 ①	2020年度 第3四半期 ②	前期比		2019年度 第3四半期 ⑤	前々期比 CAGR ⑥	2021年度 第3四半期 ⑦=①-為替影響	2020年度 第3四半期 ⑧=②-C19影響	前期比	
			増減額 ③=①-②	増減率 ④=③÷②					増減額 ⑨=⑦-⑧	増減率 ⑩=⑨÷⑧
日清食品	1,581	1,549	+ 32	+ 2.1%	1,508	+ 2.4%	1,581	1,525	+ 56	+ 3.7%
明星食品	283	280	+ 2	+ 0.8%	270	+ 2.4%	283	270	+ 13	+ 4.7%
国内即席めん事業	1,864	1,830	+ 35	+ 1.9%	1,777	+ 2.4%	1,864	1,795	+ 69	+ 3.8%
低温・飲料事業	612	586	+ 26	+ 4.5%	543	+ 6.2%	612	574	+ 39	+ 6.7%
菓子事業	520	252	+ 269	+ 106.8%	195	+ 63.1%	520	246	+ 274	+ 111.6%
国内非即席めん事業	1,132	837	+ 295	+ 35.2%	738	+ 23.9%	1,132	820	+ 313	+ 38.2%
国内その他	17	24	△ 8	△ 31.4%	32	△ 28.0%	17	35	△ 19	△ 52.9%
国内事業 計	3,013	2,691	+ 322	+ 12.0%	2,547	+ 8.8%	3,013	2,650	+ 364	+ 13.7%
米州地域	638	533	+ 105	+ 19.8%	485	+ 14.7%	604	451	+ 154	+ 34.1%
中国地域	400	353	+ 47	+ 13.3%	312	+ 13.3%	368	348	+ 20	+ 5.7%
アジア地域	112	95	+ 17	+ 18.0%	85	+ 14.9%	107	93	+ 14	+ 14.6%
EMEA地域	85	67	+ 18	+ 27.1%	52	+ 27.6%	79	61	+ 18	+ 29.2%
海外事業 計	1,235	1,047	+ 187	+ 17.9%	933	+ 15.0%	1,158	953	+ 205	+ 21.5%
連結 計	4,248	3,739	+ 509	+ 13.6%	3,480	+ 10.5%	4,171	3,603	+ 568	+ 15.8%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります

セグメント別 売上収益貢献度 (前期比・決算開示ベース)

主要要因* **



・ YoY=前期比 QoQ=前四半期比

* 日清食品、明星食品のメーカー出荷額ベースの前期比については補足資料をご確認ください

** 海外に関するコメント、前期比及び前四半期比は、すべて現地通貨ベースの売上収益に基づいて記載しております

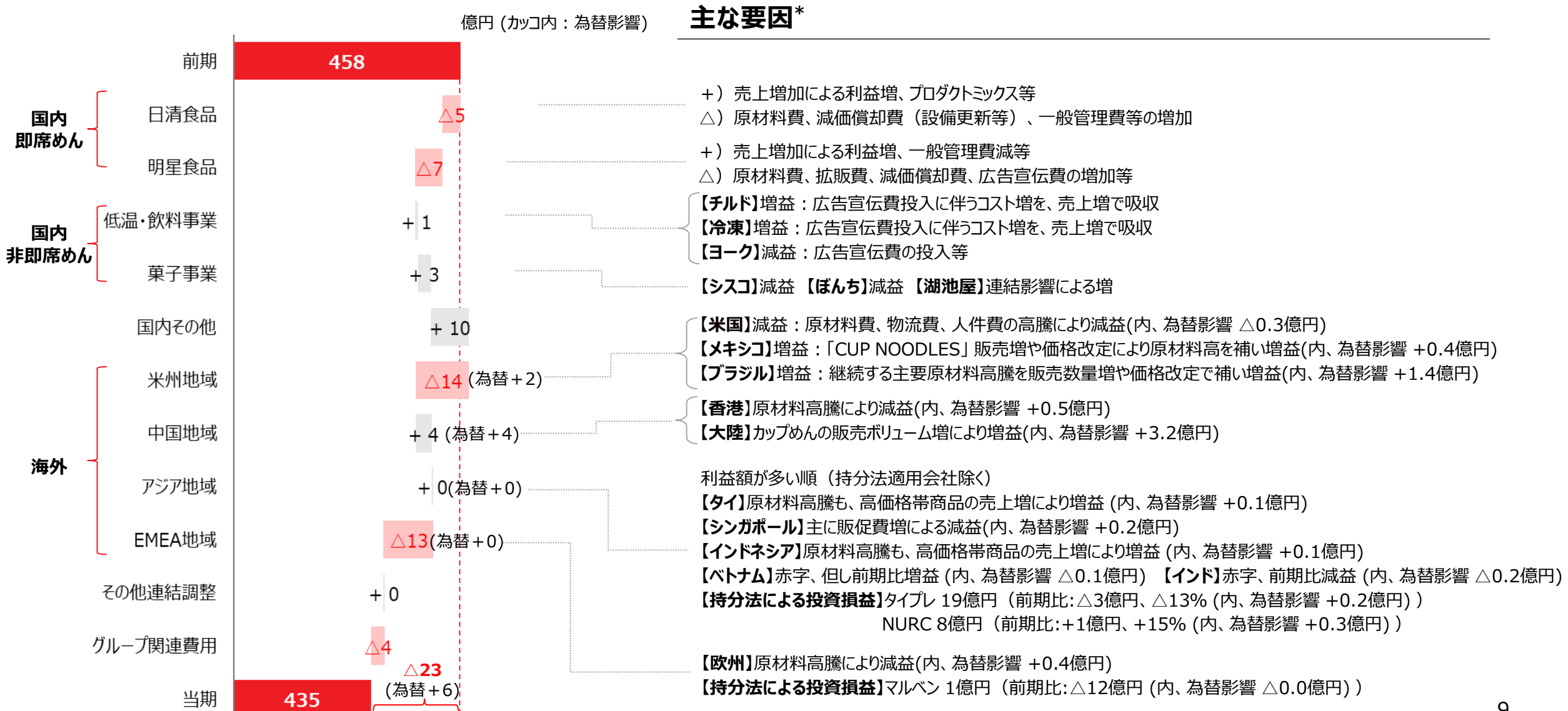
セグメント別 コア営業利益実績

- ・決算開示ベース：国内事業は増益に転じ、海外事業は減益幅の縮小で着地
- ・為替一定・前期C-19控除後ベース：国内好調、既存事業全体は今期の計画水準を超え着地

単位：億円	決算開示ベース							為替一定・前期C-19控除後ベース				
	営業利益 ①	その他 収支 ②	2021年度 第3四半期 コア営業利益 ③=①-②	2020年度 第3四半期 コア営業利益 ④	前期比		2019年度 第3四半期 コア営業利益 ⑦	前々期比 CAGR ⑧	2021年度 第3四半期 コア営業利益 ⑨=③-為替影響	2020年度 第3四半期 コア営業利益 ⑩=④-C-19影響	前期比	
					増減額 ⑤=③-④	増減率 ⑥=⑤÷④					増減額 ⑪=⑨-⑩	増減率 ⑫=⑪÷⑩
日清食品	263	1	262	266	△ 5	△ 1.7%	224	+ 8.1%	262	219	+ 43	+ 19.7%
明星食品	24	0	23	30	△ 7	△ 22.9%	23	△ 0.3%	23	22	+ 1	+ 6.5%
国内即席めん事業	286	1	285	297	△ 12	△ 3.9%	247	+ 7.3%	285	240	+ 45	+ 18.5%
低温・飲料事業	36	2	35	34	+ 1	+ 2.0%	14	+ 54.9%	35	26	+ 8	+ 30.5%
菓子事業	31	1	30	27	+ 3	+ 12.3%	11	+ 64.9%	30	25	+ 6	+ 22.8%
国内非即席めん事業	68	3	65	61	+ 4	+ 6.5%	26	+ 59.4%	65	51	+ 14	+ 26.8%
国内その他	17	0	17	7	+ 10	+ 144.9%	14	+ 9.5%	17	6	+ 10	+ 163.9%
国内事業 計	371	4	367	364	+ 2	+ 0.6%	287	+ 13.0%	367	298	+ 69	+ 23.0%
米州地域	26	0	26	40	△ 14	△ 34.5%	35	△ 14.4%	24	23	+ 1	+ 4.4%
中国地域	42	△ 2	43	39	+ 4	+ 10.5%	29	+ 21.6%	39	34	+ 6	+ 17.1%
アジア地域	34	0	34	33	+ 0	+ 1.4%	27	+ 12.0%	33	33	+ 1	+ 1.7%
EMEA地域	6	0	6	19	△ 13	△ 66.8%	12	△ 26.5%	6	17	△ 11	△ 64.6%
海外事業 計	108	△ 1	109	131	△ 22	△ 16.8%	103	+ 2.8%	103	107	△ 4	△ 3.5%
国内・海外事業 計	479	3	476	495	△ 20	△ 4.0%	390	+ 10.4%	470	405	+ 65	+ 16.0%
その他連結調整	△ 1	△ 1	△ 0	△ 1	+ 0	-	△ 0	-	△ 0	△ 1	+ 0	-
グループ関連費用	△ 40	-	△ 40	△ 37	△ 4	-	△ 38	-	△ 40	△ 37	△ 4	-
既存事業 計	437	2	435	458	△ 23	△ 5.0%	352	+ 11.1%	429	367	+ 62	+ 16.8%
新規事業	△ 11	1	△ 12	△ 8	△ 5	-	△ 1	-	△ 12	△ 8	△ 5	-
連結 計	426	3	423	450	△ 28	△ 6.2%	351	+ 9.7%	417	360	+ 57	+ 15.8%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります

セグメント別 既存事業コア営業利益貢献度（前期比・決算開示ベース）



* 海外に関するコメントは、現地通貨ベースのコア営業利益に基づいて記載しております

価格改定の状況について

原材料価格の高騰等に対応するため、国内事業および海外事業ともに、価格改定を実施

国内事業

◆ 日清食品

- 価格改定実施日: 2022年6月1日出荷分から
- 価格改定率: 希望小売価格の5~12%の値上げ
- 主な対象製品: 即席袋めん、即席カップめん、即席カップライス、即席カップスープ

◆ 日清食品チルド

- 価格改定実施日: 2022年3月1日 納品分から
- 価格改定率: メーカー希望小売価格の6~12%アップ
- 主な対象製品: チルドめん各種
一部製品は価格を据え置く

◆ 日清食品冷凍

- 価格改定実施日: 2022年3月1日 納品分から
- 価格改定率: 出荷価格の6~13%アップ
- 主な対象製品: 冷凍めん製品の一部

◆ 湖池屋

- 価格改定実施日: 2022年2月1日及び4月1日
- 価格改定率: 想定改定率: 6~11%程度
- 主な対象製品: ポテトチップス系製品各種
一部の製品を除く

海外事業

◆ 米州地域

米国

- 価格改定実施日: ①2021年5月 ②2022年1月
- 主な対象製品: ①②袋めん、カップめん

メキシコ

- 価格改定実施日: ①2021年5月 ②2021年6月
- 主な対象製品: ①輸出②MT*

ブラジル

- 価格改定実施日: ①2021年7月 ②2022年2月
- 主な対象製品: ①袋めん ②袋めん、カップめん

◆ 中国地域

大陸

- 価格改定実施日: 2022年3月から
- 主な対象製品: 出前一丁、合味道等

◆ アジア地域

インドネシア

- 価格改定実施日: 2021年4月
- 主な対象製品: 激辛、CUP NOODLES、U.F.O.

インド

- 価格改定実施日: ①2021年10月 ②2022年1月
- 主な対象製品: ①Top Ramen ②CUP NOODLES mini

* MT(Modern Trade):スーパー、コンビニなど

サステナビリティ関連トピックス

ウェルネス

「東京栄養サミット2021」*に合わせ"栄養改善"と"持続可能な食料システム"の実現に向けたコミットメントを発表

ESG評価

「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) World Index」の構成銘柄に2年連続で選定

1 **ウェルネス製品**

全製品の健康・栄養性の向上
および ウェルネス製品の販売拡大

2 **食物アレルギー検査**

アレルギー推奨表示品目の
一斉検査法の開発

3 **代替肉**

即席めんの植物性たんぱく質使用量の
引き上げ

4 **食品廃棄物**

日本での流通・販売領域の
廃棄物総量の半減

— 創業者精神 —

食 足 世 平

Peace will come to the world
when there is enough food

食 創 為 世

Create foods to serve society

美 健 賢 食

Eat wisely for beauty and health

食 為 聖 職

Food related jobs are sacred profession

「DJSI」は世界的なESG投資の株価指数
財務とESGの側面から調査・分析し、持続可能性に
優れた企業を評価

“健康と栄養” “環境報告” “気候変動戦略”
“社会貢献・慈善活動”などが特に高評価

「DJSI Asia Pacific Index」アジア・太平洋地域の
主要企業から構成。2018年から4年連続で選定

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

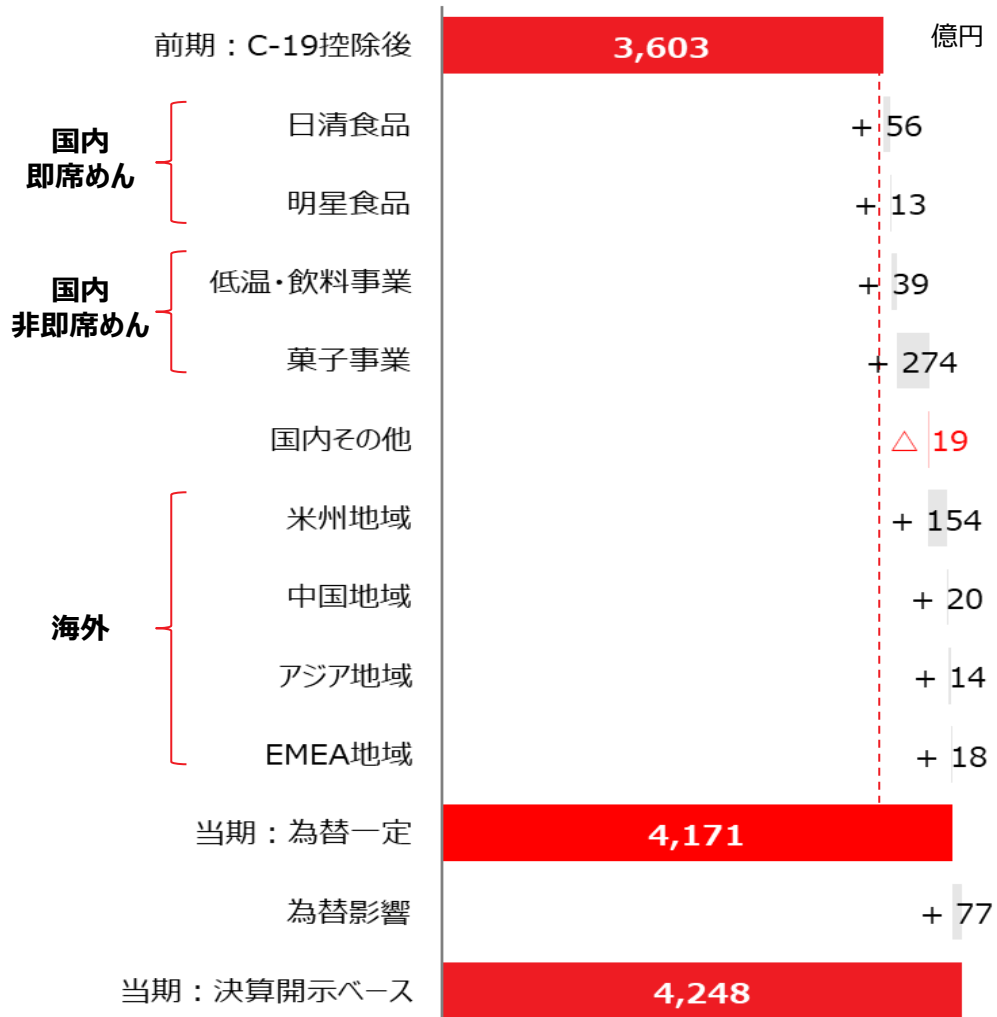
* 国政府、国際機関、企業、市民団体などのリーダーが、健康・食・強靭性をテーマに世界の人々の栄養改善について幅広く議論し、今後の行動の方向性について共通認識を深め、世界の栄養課題解決に向けた取り組みを推進することを目的とした国際会議。第三回となる「東京栄養サミット2021」が12月7日(火)と8日(水)に東京で開催。東京栄養サミット2021 公式サイト] <https://n4q-tokyo2021.jp/>

Appendix

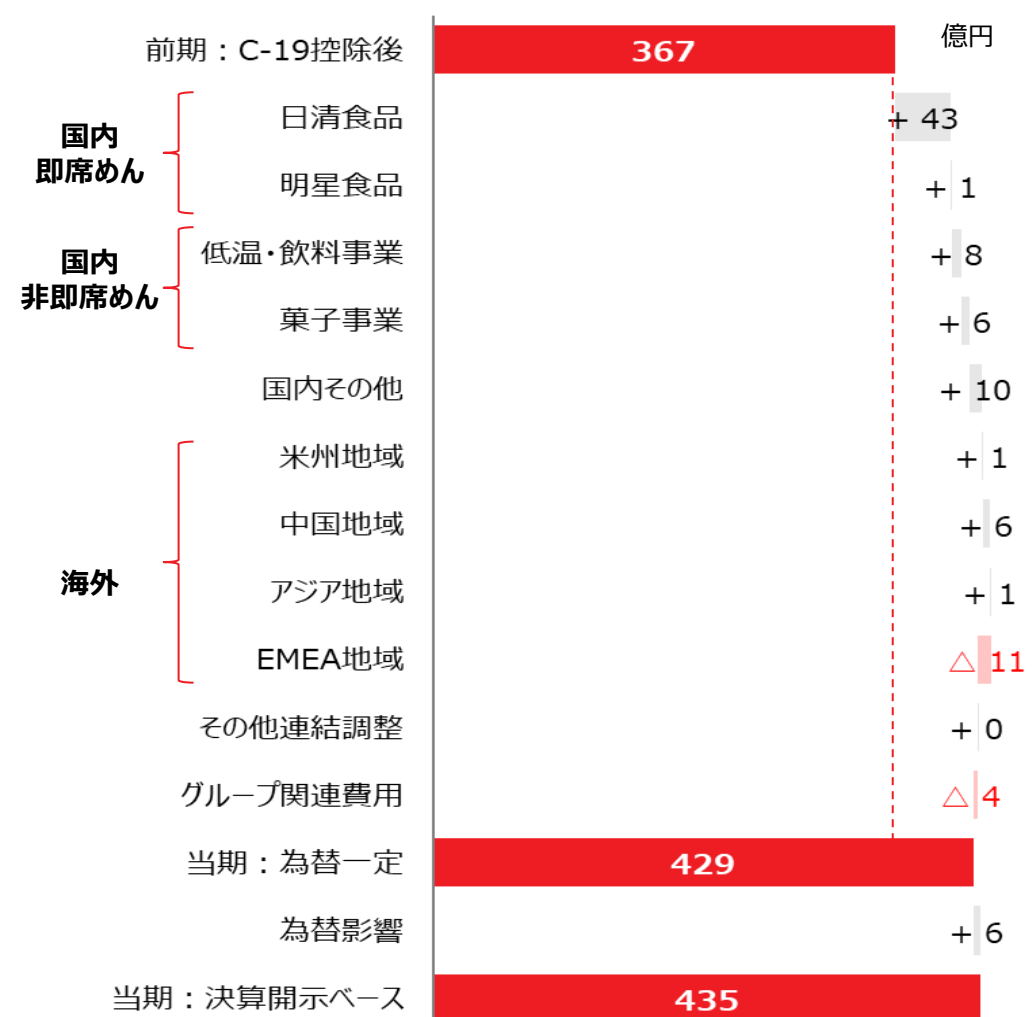
- I. 2021年度 第3四半期：セグメント別 売上収益・既存事業コア営業利益貢献度 …… P13
(前期比・為替一定・C-19控除後ベース)
- II. 2021年度計画：既存事業コア営業利益の増減要因 …… P15~16
- III. サステナビリティ関連情報 …… P18

セグメント別売上収益・既存事業コア営業利益貢献度 (前期比・為替一定・C-19控除後ベース)

売上収益



既存事業コア営業利益

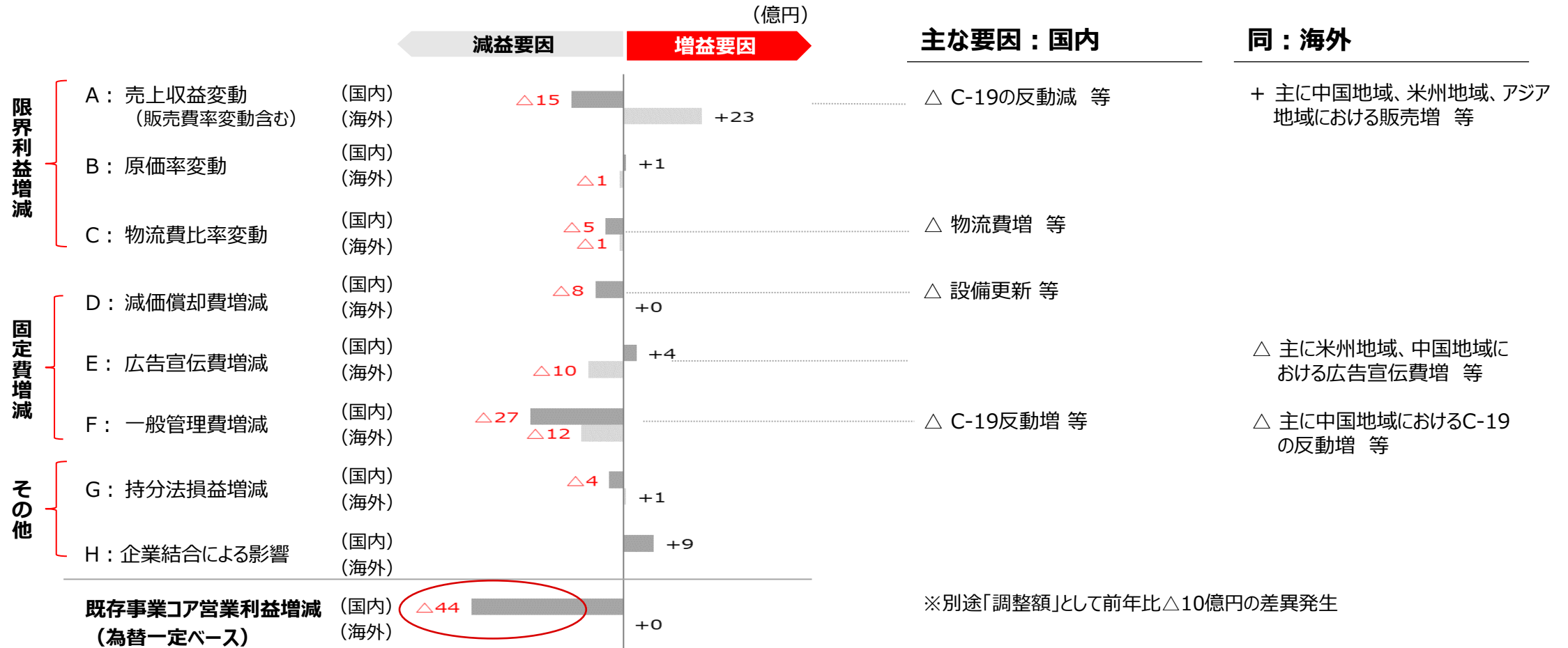


・ 増減要因については、P7およびP9をご確認ください

Appendix

- I. 2021年度 第3四半期：セグメント別 売上収益・既存事業コア営業利益貢献度 …… P13
(前期比・為替一定・C-19控除後ベース)
- II. 2021年度計画：既存事業コア営業利益の増減要因 …… P15~16**
- III. サステナビリティ関連情報 …… P18

既存事業コア営業利益予想に関する増減要因 (20年度比・計画為替一定ベース・C-19影響含む)



【増減要因の算出法】

① 限界利益 (A,B,C) = (当期の売上収益 × 前期の売上収益比率) - 当期費用 * 売上収益に販売費控除額を足し戻した額を元に算定しています。

② 固定費 (D,E,F) = 前期費用 - 当期費用

③ その他 (G) = 前期実績 - 当期予想

(H) = 新規連結会社の当期コア営業利益予想 - 新規連結会社の企業結合時点からの前期コア営業利益実績

* 計画為替一定ベースは20年度の4-3月実績平均為替レートを使用。
* 第2四半期より、減価償却費増減、一般管理費増減の数値を変更しています。

2021年度 セグメント別予想

多くのセグメントで、COVID-19影響を除く2020年度実績からの大きな成長を目指す

単位：億円	売上収益 (IFRS)						コア営業利益 (Non-GAAP)							
	2021年度 予想	前期 (2020年度 実績)				2021年度 予想	前期 (2020年度 実績)							
		売上収益	C-19影響	C-19控除後	前期比		営業利益	その他収支	コア営業利益	C-19影響	C-19控除後	前期比		
日清食品	2,070	2,056	28	2,028	+ 42	+ 2.1%	280	322	2	320	53	266	+ 14	+ 5.1%
明星食品	375	376	14	362	+ 13	+ 3.6%	24	32	1	31	10	21	+ 3	+ 13.5%
即席めん事業	2,445	2,432	42	2,390	+ 55	+ 2.3%	304	354	3	351	63	288	+ 16	+ 5.7%
低温・飲料事業	770	777	18	759	+ 11	+ 1.5%	30	36	2	34	9	25	+ 5	+ 19.7%
菓子事業	650	411	6	405	+ 245	+ 60.4%	31	26	0	26	2	23	+ 8	+ 34.0%
国内その他	25	33	△ 14	47	△ 22	△ 46.8%	10	8	0	8	2	6	+ 4	+ 60.2%
国内 計	3,890	3,653	52	3,601	+ 289	+ 8.0%	375	425	5	419	77	342	+ 33	+ 9.6%
米州地域	740	709	96	613	+ 127	+ 20.8%	39	40	0	40	18	22	+ 17	+ 75.3%
中国地域	550	482	5	476	+ 74	+ 15.5%	55	58	2	55	5	50	+ 5	+ 9.9%
アジア地域	135	127	1	125	+ 10	+ 7.9%	46	41	1	40	1	40	+ 6	+ 16.0%
EMEA地域	85	91	10	81	+ 4	+ 4.6%	15	19	0	18	4	15	+ 0	+ 2.1%
海外 計	1,510	1,408	113	1,295	+ 215	+ 16.6%	155	157	3	155	28	127	+ 28	+ 22.4%
国内・海外 計	5,400	5,061	165	4,896	+ 504	+ 10.3%	530	582	8	574	105	469	+ 61	+ 13.1%
その他連結調整							△ 60	40	41	△ 1	0	△ 1	△ 10	-
グループ関連費用								△ 49	0	△ 49	0	△ 49		
既存事業	5,400	5,061	165	4,896	+ 504	+ 10.3%	470	573	49	524	105	419	+ 51	+ 12.2%
新規事業							△ 25 ~ △ 45	△ 18	0	△ 18	0	△ 18	△ 7 ~ △ 27	- -
連結 計	5,400	5,061	165	4,896	+ 504	+ 10.3%	445 ~ 425	555	49	506	105	401	+ 44 ~ + 24	+ 11.0% ~ + 6.0%

=470-524+10=△44

* 中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想数値は、日清食品HDが独自に設定したものです

Appendix

- I. 2021年度 第3四半期：セグメント別 売上収益・既存事業コア営業利益貢献度 …… P13
(前期比・為替一定・C-19控除後ベース)
- II. 2021年度計画：既存事業コア営業利益の増減要因 …… P15~16
- III. **サステナビリティ関連情報** …… **P18**

日清食品グループの主なサステナビリティ関連の取り組み

包括的な取り組みで企業運営のレジリエンス強化を図る

1

環境にやさしい、を意識した「カップヌードル」



容器
包材

バイオマス・プラスチックの活用
フタ止めプラスチックの廃止

具材

“謎肉”“ほぼイカ”代替食技術の活用

めん
スープ

持続可能なパーム油の活用

2

環境問題の解決を目指すアライアンス、イニシアチブへの参加

CLOMA



Clean Ocean Material Alliance

SBTi



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

SCIENCE
BASED
TARGETS

3

ESG投資の代表的指標、“DJSI” “FTSE”への選定

* DJSI_Dow Jones Sustainability index

** “FTSE4Good Index Series”、“FTSE Blossom Japan Index”の構成銘柄に選定

Member of

**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

4

TCFDフレームワークの開示

気候変動が当社に与えるインパクトを開示

<https://www.nissin.com/jp/sustainability/environment/policy/risk/>



本資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日～20YY年3月31日を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品HDの連結方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品HDが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社